

エコとわざコンクール10周年記念誌



エコとわざ

2010 - 2019



発行：エコ・ファースト推進協議会
日本ことわざ文化学会

議長の言葉



エコ・ファースト推進協議会議長
今井 雅則
(戸田建設株式会社 代表取締役社長)

エコ・ファースト推進協議会では、2010年から環境省の後援、日本ことわざ文化学会の審査・監修のもと、小中学生の環境意識の向上と、積極的なエコ活動を目指し、「エコとわざ」を広く募集してきました。

その活動も昨年(2019年)で10周年を迎えました。

10年の節目に、活動の歩みとこれまで応募のあった約8,000点の「エコとわざ」を振り返り、『エコとわざコンクール10周年記念誌』を発行する運びとなりました。

世界で起きている環境問題や自然災害に対して、小中学生の皆さんが、「自分たちには何ができるか」、「より良い未来のためにはどうしたらよいのか」を真剣に考えた素晴らしい作品の数々です。

この10年の間、国際社会は、地球温暖化、プラスチックによる海洋汚染、森林の破壊、希少生物の絶滅、オゾン層の破壊のような環境に関する課題だけでなく、貧困、飢餓、不平等、紛争という社会課題への対応も迫られています。

その解決のためには、SDGs(持続可能な開発目標)の考え方に基づいて、一人一人が行動を起こすことが肝心だと思います。小中学生から寄せられた「エコとわざ」は、私たち大人に気づきを与えてくれました。

これからもエコ・ファースト推進協議会は当活動を推進してまいります。引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

目次

議長の言葉 2 

第一部

10年間の環境トピック 4 

総 評 6 

ことわざの型とかたち 10 

エコとわざ創りのイロハ 11 

第二部

エコとわざ優秀作品10選 12 

受賞作品10年分 14 

エコ・ファースト推進協議会の環境年表 34 

10年間の環境トピック

2010年から始まったエコとわざコンクール、この10年間に起きた大きな環境問題を取り上げました。

食品ロス

まだ食べられるのに捨てられる食品の増加

世界では9人に1人が、食べ物がなくて飢餓で苦しんでいます。ところが日本では、1年間で612万トンのまだ食べられる食品が捨てられ、そのうち284万トンが家庭から捨てられています。国民一人あたりでは1日約132g、年間48kgで、1年間一人当たりの米の消費量(48kg)に相当します。

農水省食料産業局「食品廃棄物の発生状況(平成29年)」



水資源の危機

水が足りない、水が汚染されている

水の惑星といわれる地球で、飲み水にできるのはわずか0.1%、海水が98%、淡水のほとんどが南極や北極の氷山です。

現在世界中で10人に1人に当たる、7億8500万人の飲み水が不足していて、毎年29万7000人の5歳未満の子どもが不潔な水しか飲むことができて、下痢で亡くなっています。

水質汚染も大きな問題です。特に台所から出る食器を洗った水は、油分や洗剤など水を汚す原因となっています。



環境省 総合環境政策「水資源2019」
ユニセフ(国連児童基金) 世界保健機関(WHO)
「水と衛生に関する共同調査プログラム(JMP)2019」

エネルギー

便利な電気を使う生活が、地球温暖化の原因

電気やガス、ガソリンなどのエネルギーは、毎日の生活に欠かせないものです。でも、その原料の石油・石炭・LNG(液体天然ガス)は日本では産出されないため、輸入に頼っています。2017年のエネルギー自給率は9.6%でした。また、それらの化石燃料は使うとCO₂を排出して地球温暖化の原因になっています。

太陽光や風力、小水力、地熱など自然エネルギーを使えばCO₂は発生しませんが、まだこうした再生可能エネルギーの自給率は日本では8.1%(水力発電7.9%)にとどまっています。

経済産業省資源エネルギー庁「2019-日本が抱えているエネルギー問題」



生物多様性

地球に生きているのは人間だけではない

地球上の生きものは、人間も含めて生物多様性の恵みを得て生きています。酸素は植物によって作られ、汚れた水は微生物が浄化します。そして人間は他の生き物の生命を食料にして生きています。地球環境は生命の繋がりである生物多様性で保たれているのです。その大切な生物多様性が、人間によって損なわれています。人間が森を畑にしてしまうことによって野生動物の棲む場所が奪われたり、海洋生物が生まれる数よりたくさん捕獲されることなどで、多くの生き物が減少しています。インドネシアのボルネオ島で、森を伐ってパームやしを植えたことで、オラウータンの棲む森がなくなっていました。

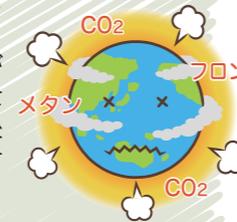


WWFジャパン「地球温暖化による野生生物への影響」

温暖化による異常気象

風水害・干ばつ・森林火災

人間の暮らしや企業活動から排出される温室効果ガス(二酸化炭素、フロンガス、メタンガスなど)によって、地球温暖化が進んで異常気象が起きています。今年も梅雨に九州や中部地方で集中豪雨が降り、川が氾濫したり、土砂崩れが起きて、家や道路・鉄道が壊れ、多くの方が亡くなりました。反対に、オーストラリアでは雨が降らない干ばつによって山火事が発生し、たくさんの野生動物のすみかや命が奪われています。これ以上地球温暖化が進まないように、2015年に開催されたCOP21でパリ協定が締結されました。これは、産業革命以降の世界の気温上昇を2度以下に抑え、21世紀後半には温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを197か国が合意したものです。



WWFジャパン「地球温暖化による野生生物への影響」

廃棄プラスチックによる環境破壊 海洋プラスチック汚染

便利で安くてじょうぶなプラスチックは、あらゆるものに使われていますが、その多くは一度だけ使う「ワンウェイ」です。使った後、きちんと処分やリサイクルされずに捨てられて陸から川、そして海に流れ着き海を汚染しています。このままでは2050年には、海に棲む生き物とプラスチックの量が同じになってしまいます。

この海洋プラスチックごみの影響で、魚類・海鳥・アザラシ・ウミガメなど700種もの海洋生物が絡まったり、餌と間違えて食べて、死んだり傷つけられたりしています。



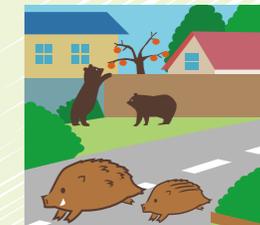
世界経済フォーラム(WEF)ダボス会議で発表されたエレン・マッカーサー財団の調査結果

森林破壊による野生動物の飢餓

冬眠できない熊、人の居住区に侵入するタヌキ・野猿

野生動物のシカやイノシシ、クマなどが、住宅地や畑に出没するニュースが多くなっています。原因は様々ですが、野生動物が棲む山林が手入れされずに荒れてしまったり、開発が進んで工場や住宅が建てられるようになったことも原因の一つです。

さらに、異常気象などで自然界での食べ物が不足して、人間の住むところにまで出てくることもあります。人間と野生動物が共存するためには、これ以上自然環境を破壊するような開発をもう止めなければなりません。



WWFジャパン「今日、森林破壊を止めるためにできること」



森 洋子
日本ことわざ文化学会理事



森 洋子(もり ようこ)
明治大学名誉教授。ベルギー王立考古学アカデミー
外国人会員。西洋美術史。お茶の水女子大学卒。ミュ
ンヘン大学留学(独)。プリンマー・カレジ修士課程卒
(米)。ベルギー政府給費留学。学術博士。『ホガースの
銅版画』(岩崎美術社)、『プリューゲル全作品』(中央公
論新社)、『プリューゲルの「子供の遊戯」一遊びの図像
学』(未来社、サントリー学芸賞他)、『プリューゲルの諺
の世界—民衆文化を語る』(白凰社、芸術選奨文部大
臣賞)、『プリューゲルの世界』(新潮社)、『ベルギー王立
図書館所蔵 プリューゲル版画の世界』(共著)、『図説ベ
ルギー 美術と歴史の旅』(共著)他、Wolfgang Mieder
ed., The Netherlandish Proverbs: An International
Symposium on the Pieter Bruegel(h)els. ウジェーヌ・
ペ国際賞(アントワープ)。紫綬褒章

エコとわざコンクール、 10年を振り返って

全国の小中学生を対象とする「エコとわざコンクール」は2010年から開始し、昨年で10年目を迎えました。まだ世界のどの国も実施していない、意義深いコンクールに参加した子どもたちは地球の環境問題を考える、よい機会となったことでしょう。審査に加わった私たちも、この10年間、子どもたちの地球への熱い思いを語るエコとわざ、例えば、「地球を救う ひらめきの数 星の数」(2019年 小5 和田芹菜)から多くを啓発されました。

最初の年の応募作品数はコンクールの知名度も低かったので、500点に満たない状況でした。あるエコ・ファースト企業は子どもたちの農業体験のイベントを企画し、土中のミミズや微生物も農業の土壌改良の役に立ち、生物多様性の保全によって、みんなは暮らしていることを実感していただきました。その結果、自然環境に興味を抱いた子どもたちが積極的に、コンクールに参加してくださったそうです。その後、応募数はだんだん増え、2015年には過去最高の1,500点以上となりました。沢山の子ども



たちは小中学生時代に何回もコンクールに応募し、また兄弟姉妹で競い合って参加したとも伺っています。

初年度の応募作品には、ことわざとはいえない、単語の組み合わせや散文もありました。しかし翌年の2011年から小学校3、4年生の国語の授業で「ことわざ学習」が始まると、子どもたちのことわざ作りも次第に上達しました。2015年からニュースリリースに、「コンクールの総評」が掲載され、「ことわざ作り」の解説も加わりました。その結果、「**エコのためなくすものはボクのエゴ**」(2016年 小4 村上顕光)や「**みんなでエコエコ地球ニコニコ!**」(2019年 小6 上舞留愛)など、ことば遊びと力強いメッセージが共存する作品が受賞しています。

子どもたちは、身近に遭遇したゲリラ豪雨や危険な猛暑と地球温暖化との関係を真剣に考えています。実際、現代の子どもたちは大人たちが想像する以上に、未来の地球環境を心配しています。例えば、「**人間が出すのはCO₂、地球が出すのはSOS!**」(2010年 小4 小高美衣菜)は二酸化炭素による環境破壊を嘆いています。自分たちがすぐにすべき行動を考え、単独また

は家族で積極的にエコ活動をしています。小学校5年生の「社会」の教科書に、「環境表チェック」がありますが、「ゴミ拾いや植林活動」など具体的な活動が書かれていました(『社会5下』教育出版、2019年)。いくつかの小学校では、環境教育の一環として、「環境日記」を夏休みの宿題にしています。「エコとわざ」は本誌の環境トピック(4-5頁)のような問題に触れているので、まさに時代を映す鏡といえるでしょう。

以下年代順に、その年のコンクールのテーマを的確に表現している、代表的なエコとわざを紹介しましょう(12-13頁の「エコとわざ優秀作品10選」と重ならないようにしました)。

初年度(2010年)のテーマは「生物多様性」でしたが(テーマの詳細は「受賞作品」14-33頁を参照)、「**くまをおうより森をそだてよ**」(小3 湯川真有)は新聞やTVで報じられた、人里に餌を求めて出沒するクマ退治を批判していますが、同時に野生動物への優しい思いやりが感じられます。「森林保全」がテーマの2011年、「**心の気が地きゅうの木を育てる**」(小2 伊藤嘉基)のように、木と気と同音異義語を巧みに使って、生物多様性の大切さを伝えています。「**森林は生き**



物たちのゆうえんち」(小2 野淵裕也)と語りながら、実際は森林破壊で生き物が棲みにくくなった環境を心配しています。「自然エネルギー」がテーマの2012年、「おひさまの ひかりがよるに つかえたら」(小1 矢田侑夢)には感嘆しました。幼いながら、“太陽光を蓄めたい”という望みをもっていたのです。実はエネルギーの変換としてではなく、太陽光そのものの“蓄光”は現在も研究開発の途上なのです。他に風力、地熱、バイオマスエネルギーなどを使ったことわざもあります。「水」がテーマの2013年から、環境大臣賞が新設されました。受賞作品は「なつのおさ みずやりすると ちょうがのむ」(小1 小川陽菜乃)で、水面にとまる美しい蝶の光景は自然共生をイメージさせる、絵画的な作品です。「むだな水は 地球のなみだだよ」(小5 中川桃奈)は、本誌の「水資源の危機」(4頁)を比喩的に伝える作品です。「未来の環境」がテーマの2014年、「伝えよう 青い地球の 赤信号」(中2 福島敏明)は、悪化する環境問題を負の遺産として未来に残さないでほしいという子どもの叫びとも思われます。「気候変動」がテーマの2015年、「省エネが 地球の熱の 処方箋

(小5 長谷川由奈)は「省エネ」こそ地球の病気の妙薬と強調しています。

環境年表(34-35頁)によれば、この年、COP21で気候変動枠組条約「パリ協定」が採択されました。すると翌年(2016年)のテーマは「未来の地球」となりました。この年はリオデジャネイロ(ブラジル)でオリンピックが開催されたため、「エコリンピック ちきゅうがニッコリ金メダル」(小2 杉江輝俐)が“出場”しました。「エコなくらし」がテーマの2017年、「物心つく前の エコ心」(小4 藤田あまね)は心に響きました。作者は3歳年下の妹さんの成長を見ながら、幼時期からのエコ教育の大切さを感じたのでしょうか。

2018年のテーマは「自然を守る」でしたが、子どもたちは未来に対する強い使命感を示しています。3年前の2015年9月、国連サミットが採択したSDGs(持続可能な開発のための2030アジェンダ)は世界の開発目標となりました。こうして「SDGs 世界みんなの合言葉」(小4 細川奏音)が生まれました。10年目(2019年)のテーマは「自然と暮らし」ですが、「さかなさんも たべたくないよ うみのごみ」(小1 牛田千



紉)という、海洋を汚染するプラスチックごみへの怒りが小学1年生から発せられました。実は初年度の2010年、「エコバッグ」運動を唱える作品が14点もあり、子どもたちはレジ袋がもたらす生態系の破壊に心を痛めていました。2020年よりレジ袋有料化が始まりましたが、すでに10年前にプラごみ地獄への子どもの監視の目が鋭く光っていたのです。「サーキュラー 何度も使え みんなの資源」(小6 大橋未侑)にも脱帽しました。この言葉を知らない大人もいる中、小学生が「SDGsの達成の鍵」となるサーキュラーエコノミー(循環型経済)を学習していたのです。

気候変動による自然の大災害を未然に防ぐために、「異常気象 地球の涙 エコでゼロ」(2017年 小5 島田紗希)はエコ活動のスローガンともなる作品です。未来の地球市民となる子どもたちは、「自分が住む地球を自分が住む家と同じように考えなければいけません」(秋山宏次郎監修/バウンド著『こどもSDGs』2020年)というコンセプトを学んだのでしょうか。スウェーデンの17歳の環境活動家グレタ・トゥンベリさんよりかなり以前に、日本の数千人の子どもたちが「エコとわざ」を通じ、地球環境を守り、生物多様性を大切にし、

美しい地球をとりもどそうと行動しています。

10年間で約8,000点のエコとわざの応募作品を読むと、次世代を担う子どもたちが着実にエコ活動への決意、対策の提案、行動のステップを踏んでいることを知り、感無量となります。「エコのこえ 子どもがつたえ 大人がかわる」(2019年 小3 本田晴菜)は、高いエコ意識をもつ子どもから大人へのメッセージです。受賞者はレストランに行ったとき、前年のプラスチックストロー廃止を知って、「わたしは使わない」と言い、それに家族が同調したそうです。いまや「子どもが大人を変える」、という新しい時代が到来しています。

10年前に応募した子どもたちは現在、社会人として環境の諸問題に現場で直面していることでしょう。とりわけ気候危機の原因とされる温室効果ガスの排出抑制や限られた資源の有効活用、廃棄物の3R促進に努めるなど、日々、尽力しておられるでしょう。今後、ニューリーダーたちのご活躍を心から応援していきたいと思います。



ことわざの型とかたち

ことわざは俳句と同じ短詩系の文芸です。5・7・5という決められた型(かた)はありませんが、「口調よく意味が伝えられる短句」というおおらかな形(かたち)に集約できるでしょう。形という個性を尊ぶ創作ことわざは、今や短詩文芸の一翼を担うまでに成長を遂げています。

1、リズムがよい…滑らかである

ことわざが記憶術になり得るのはリズムがよいからです。「山高きが故に貴(たつ)からず」は9音と5音、「山より大きな猪は出ぬ」は13音と2音。「水を得た魚」は5音+2音、「逃がした魚は大きい」は8音+4音など、いずれもリズムよく組み合わせられています。

2、短い…無駄がない

「月と鼈(すっぽん)」や「提灯に釣鐘」は対比が面白く、しかも名詞で終わる「体言止め」によってキレ味があります。「井の中の蛙大海を知らず」は文語調のうえに助詞の「は」が省かれ、上の句である「井の中の蛙」のみでも通用するなど、短縮法のモデルと言ってもよいでしょう。

3、意味がある…筋が通っている

「玉磨かざれば光なし」は真正直な人生訓。悪事を意味した「断じて行えば鬼神もこれを避く」は、今では善悪両方の意味で用いられています。最初は分からなくても、筋をたどると笑えて納得できるのが「風が吹けば桶屋が儲かる」。「犬が西向きゃ尾は東」は当たり前過ぎて滑稽です。

—これで「ことわざの3本柱」が整いました—

山口 政信
日本ことわざ文化学会理事



山口 政信(やまぐち まさのぶ)
明治大学名誉教授。スポーツ言語学会会長、日本笑い学会理事。東京教育大学体育学部卒業、東京学芸大学大学院教育学研究科修了。日本陸上競技選手権大会・メキシコ五輪最終選考競技大会6位(400mH)。
『スポーツに言葉を』(単著、遊戯社)、『世界ことわざ比較辞典』(共監修、岩波書店)、『陸上競技(トラック)』(共著、不昧堂出版)、『笑いのことわざ』(共編著、人間の科学社)、『子どもことわざは真実を語る—ことわざの叢智を小学4年生に教える—』(共訳、創英社/三省堂書店)など。
映像著作:(瀬古利彦の理走シリーズ、構成と出演) ①「ジョギングへの招待」 ②「ジョギングの実践」。



エコとわざ創りのイロハ

エコとわざへの期待は、今の状況をよく見ること、そしてそれを解決する方法や未来の健康的な環境づくりを提案することにあります。そこでまずは、エコとわざ創りの手順について述べます。

- 1、エコに関する直観を大切に、駄作をいとわず多作を心がけましょう。
- 2、「近からず遠からず」の関係にある何かを結び、意外性が表現できると面白くなります。
- 3、無くて意味が通じる文字を削り、すっきりした句づくりを目指しましょう。
- 4、リズムがとれない時は、助詞を省き言葉の順序を入れ替え、他の言葉を探してみてください。
- 5、まとまったら声に出して読み返し、つかえるところがあれば根気強く修正しましょう。
- 6、淀みなく読めたなら、あなたは立派な「エコとわざ作家」であり、エコ活動の実践者です。

次に、イメージがふくらむよう、学生さんの創作ことわざを論評してみましょう。

- A、「ボールと魚はすばやく切れ」…キーワードは「切る」、結び付けたモノは「ボール」と「魚」です。命令形がキレを生み、卓球と料理の極意を的確に印象付けています。
- B、「先生の技術は省エネ」…上手い人の所作には力み・迷いといった無駄がありません。この勘どころを鋭く見抜いた作者は、何においても上手くなる可能性を秘めています。

最後に、ことわざ創りの思考技法を「わざ言語」風のイロハにまとめてみました。これらを下敷きにしたわたしの創ったみんなのことわざによって、エコの輪が広がることを祈っています。

- イ、ひらめきを 脳裏に残せ キーワード
- ロ、語呂も口調も よいように 短縮入れ替え 捻り技
- ハ、声に出し 何度もなんども 読み返し 聞いてもらおう 近くの人に





エコとわざ優秀作品10選 (学年順)

時田 昌瑞
日本ことわざ文化学会副会長



時田 昌瑞(ときた まさみず)
編著監修:『世界ことわざ比較辞典』『岩波ことわざ辞典』『岩波いろはカルタ辞典』(岩波書店)、『図説ことわざ事典』(東京書籍)、『辞書から消えたことわざ』『絵で楽しむ江戸のことわざ』(角川ソフィア文庫)、『授業がもっと楽しくなる! 学校で使いたいことわざ』『思わず使ってみたくなる知られざることわざ』(大修館書店)、『ことわざのタマゴ』(朝倉書店)、『いろはカルタの文化史』(NHK出版)。
子供向け図書 『ちびまる子ちゃんの続ことわざ教室』(集英社)、『ことわざの探検』『ことわざ辞典』(アリス館)。
明治大学図書館・博物館に「時田昌瑞ことわざコレクション」が収蔵されている。

「エコとわざ」コンクールは全国の小中学生の環境意識の向上をはかることを目指し、そうした作品づくりを通して社会に寄与することをコンセプトとしています。子どもたちは元より大人の心にも届くような染み入ることば、面白く機知に富んだ表現、聞いて心地のよい言い回しで形づくられた作品となれば最高でしょう。

エコとわざが普通のことわざと大きく異なる点があります。内容にエコの精神性が存在するということです。普通のことわざがオールラウンドプレイヤーであればエコとわざは目的が明確な標語のような選手なのです。上記のことから選定の基準を示します。まずは内容面での高いメッセージ性、強い行動力、子どもならではの感性が表現されているもの、これに加えて短く、リズムよく、イメージ豊かなものを基本としました。以下に「エコとわざコンクール、10年間を振り返って」(6-9頁)に記載されたものを除いた10作品をあげます。



くもはみず うみかわあめゆき ひとみず 武田 爽 小1 2013

漢字を一切使わずリズムよく水の重要性や本質をついた一年生とおもえないすごさがある作品。



ゴミ分別 注意一秒 地球一生 鈴木 茉耶 小3 2017

「注意一秒、怪我一生」の有名な標語をとり入れることにより、ゴミの分別の重要性が際立てられている。



せみのこえ あつめてでんき つくれそう 池下 いおな 小4 2010

聞いているだけで汗がにじむ真夏のセミの声を落雷になぞらえたような理科学的な着眼がユニーク。



エコとわざ 考えるのも エコ意識 小泉 奈津美 小6 2014

エコを推し進める運動の根幹ともなる原理を浮きだたす「エコとわざ憲章」のような秀逸な作品。



かっこいい もったいないと 言ったきみ 若井 理香 小6 2015

かつてケチの意味での同義語の「もったいない」を近年のトレンドのことばとする着眼が新しい。



千里の道も一歩から、エコへの道は私から 東 凌駕 小6 2017

古来からよく知られることわざを本質論に、現代の自らのエコ心を具体策とした行動力がみられる作品。



地球のために エコひいき 杉田 珠江 小6 2018

「エコひいき」というマイナスの意味のことばを地球に援用した可笑しさと面白さがある。



水が好き 人が好き 節水する君がもっと好き 福島 敏明 中1 2013

「好き」を三度使って印象が高められ、メッセージを身近な人に力強く伝える技巧的にも優れた作品。



まあいいや それは世界を こわすこと 豊田 真子 中2 2015

人間の誰にでもある横着心、妥協性、あいまい性、まぎらかし等の負の側面の問題を簡潔に表現している。



未来の計は エコにあり 下山 樹 中2 2018

周知の「一年の計は元旦にあり」をエコに応用したものながら人類の未来への行動宣言の響きとなっている。



「エコ・ファースト推進協議会」優秀賞

おんだん か きよねん
温暖化 去年の虫と ちがう虫 池田 春花 小6 神奈川県
横浜市立田奈小学校

トンボのメガネ 水がきれいか見張っている 見瀬 知里 中1 埼玉県
浦和明の星女子中学校

日本ことわざ文化学会賞

くまをおうより森をそだてよ 湯川 真有 小3 東京都
杉並区立四宮小学校

森 洋子 賞

ぼく ちきゅう みらい
僕らが守るよ！ 地球の未来 関 颯斗 小3 長野県
佐久市立中込小学校

加盟企業賞（「エコ・ファースト企業」認定順）

ビックカメラ賞 せみのこえ あつめてでんき つくれそう 池下 いおな 小4 静岡県
浜松市立西小学校

ユニー賞 みみずさん 野菜作りの 名人だ 八巻 夏葵 小6 東京都
墨田区立第三吾嬬小学校

キリンビール賞 ビオトープ カエルとボクの エコ学校 森 駿 小5 神奈川県
横浜市立一本松小学校

ライオン賞 澄んだ川 魚とおどるぼくの足 小西 悠介 中3 群馬県
高崎市立片岡中学校

INAX賞 おみずはね せかいのいのちが こもってる 中野 愛梨 小4 愛知県
常滑市立常滑西小学校

積水ハウス賞 たぬきもへびもすんでる森は エコでちきゅうをひやしてる 金子 昌平 小2 神奈川県
川崎市立金程小学校

日産自動車賞 (ECO)2 - CO₂ = E2 (everything energy)
エコエコマイナスシーオーツーはエブリシングエネルギー 山岡 千紘 中2 東京都
文京区立音羽中学校

NECパーソナル
プロダクツ賞 あきがお の みどり
朝顔のつるを伸ばして緑のカーテン 西村 陸 中2 神奈川県
慶応義塾普通部

三洋商事賞 ふやそうよ 緑のカーテン エコロジー 密城 秀太 小4 大阪府
東大阪市立玉川小学校

ANA賞 みんなでサンゴをうえてきれいなうみ 中村 はる 小1 埼玉県
鳩ヶ谷市立鳩ヶ谷小学校

ダイキン工業賞 エコがふえれば地球が笑う 鈴木 鶴也 小4 埼玉県
本庄市立西小学校

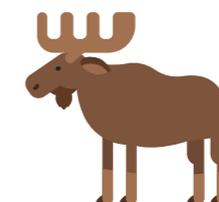
電通賞 分別は資源の母 高谷 紗友里 小5 神奈川県
横浜市立駒林小学校

日本興亜損害
保険賞 人間が出すのはCO₂、地球が出すのはSOS！ 尾高 美衣菜 小4 東京都
江東区立東陽小学校

住友ゴム工業賞 いつも完食。残飯出さないエコなぼく 福丸 寛裕 小5 兵庫県
明石市立鳥羽小学校

資生堂賞 エコでニコッ、地球の笑顔を取り戻そう 福田 琳之介 小6 秋田県 秋田大学
教育文化学部附属小学校

戸田建設賞 自然が生み出す癒しの時間 僕らもエコで恩返し 田村 優樹 小5 群馬県
邑楽町立中野東小学校





「エコ・ファースト推進協議会」優秀賞

心の気が地きゅうの木を育てる 伊藤 嘉基 小2 愛知県 常滑市立常滑西小学校

森の中 葉っぱのトンネル地球冷やす 藤田 凌平 中3 愛知県 知多市立東部中学校

日本ことわざ文化学会賞

息してる 森は地球を生かしてる 晝河 梨子 小6 三重県 伊勢市立城田小学校

加盟企業賞(「エコ・ファースト企業」認定順)

ビックカメラ賞 しんりんは でんきのいらなく うきせいじょうき 染谷 友太 小1 東京都 中野区立江古田小学校

ユニー賞 スイッチきって木はきらない 国本 健太 小1 東京都 江戸川区立第二葛西小学校

キリンビール賞 森の生命を守ること それがぼくらの未来の役目 鈴木 一平 小6 静岡県 富士市立須津小学校

ライオン賞 森と水 生活支える 大黒柱 上田 環 小5 三重県 伊賀市立青山小学校

INAX賞 森林の友達増えたなら お魚家族も大家族 尾崎 暉 小4 福井県 福井市立明新小学校

積水ハウス賞 つながっている もりのいのちと みんなのいのち 鈴木 心渚 小1 福島県 会津若松市立謹教小学校

日産自動車賞 物のループは生き物のループ 生き物のループはこれからのループ 石山 智香 小6 神奈川県 川崎市立今井小学校

三洋商事賞 エコする子どもは ええ子ども 浅野 竜弘 小4 大阪府 東大阪市立英田南小学校

ANA賞 緑の羽根があつまって 森林を守る翼になる 森 拓 中3 神奈川県 慶応義塾普通部

電通賞 葉っぱの雫が僕らの命 鈴木 鶴也 小5 埼玉県 本庄市立本庄西小学校

日本興亜損害保険賞 コツコツと森林を育てよう未来への貯金 川島 あかり 小5 東京都 墨田区立隅田小学校

住友ゴム工業賞 森林は生き物たちのゆうえんち 野淵 裕也 小2 兵庫県 西宮市立大社小学校

資生堂賞 森の恵みは宝物 生命を守るエネルギー 杉原 侑里子 小4 兵庫県 高砂市立米田西小学校

クボタ賞 きれいな水に 美味しい空気 ゆたかな森の贈り物 鈴木 愛渚 小2 福島県 会津若松市立謹教小学校

戸田建設賞 人が守る緑の森林 森が育てる人の心 君嶋 七穂 小5 兵庫県 神戸市立雲中小学校

ニッポンレンタカーサービス賞 エコってね 小さな事をつみかさね 山口 友梨亜 中1 愛知県 知多市立東部中学校

三菱重工パーキング賞 森林を守ってつなげるぼくらの未来 水上 郁佳 小3 神奈川県 横浜市立三保小学校

辻・本郷税理士法人賞 ゆたかな森林に 生き物山森林 川上 恵門 小3 愛知県 名古屋市長北小学校

一条工務店賞 僕が逃がしたコクワガタ 僕の子どもが捕まえる 宮本 和季 小5 神奈川県 横浜市立幸ヶ谷小学校

スーパーホテル賞 我が生命 森林の息吹があつてこそ 水上 優美 小5 神奈川県 横浜市立三保小学校

ブリヂストン賞 森林は 水と生き物の お母さん 柴田 慶一 小1 埼玉県 川口市立芝小学校

リクルート賞 森でごみをひろったよ はっぱがいっぱい笑ったよ 千秋 華 小3 東京都 練馬区立大泉第四小学校





「エコ・ファースト推進協議会」優秀賞

おひさまの 光りがよるに つかえたら 矢田 侑夢 小1 愛知県 名古屋市立牧野小学校

ちぎゅうからよぶんうわぎ 地球から余分な上着をぬがせよう 篠原 雅人 中1 埼玉県 本庄東高等学校附属中学校

日本ことわざ文化学会賞

北かぜも でんきになったら あったかい 宮本 樹季 小1 神奈川県 横浜市立幸ヶ谷小学校

加盟企業賞(「エコ・ファースト企業」認定順)

ビックカメラ賞 ぼくのいえ やねとたいよう にらめっこ 大橋 直 小1 埼玉県 さいたま市立春岡小学校

ユニー賞 エコ家族 一家団欒 笑顔増え 松原 亜実 中3 岐阜県 可児市立東可児中学校

キリンビール賞 エコしてる?他の生き物しているよ 橋本 サラ 小4 千葉県 酒々井町立大室台小学校

ライオン賞 エコすれば 心もきれい 地球もきれい 原 一斗 小4 大阪府 東大阪市立英田南小学校

INAX賞 おひさまごきげんななめでまわそうおおきなふうしゃ 川島 早葵 小1 東京都 墨田区立八広小学校

積水ハウス賞 おひさまからのおこづかい おうちの屋根にたまって 杉原 杏由子 小2 兵庫県 高砂市立米田西小学校

日産自動車賞 おひさまの作る電気が照らしてる、100年先の輝く明日を。 君嶋 七穂 小6 兵庫県 神戸市立雲中小学校

NECパーソナルコンピューター賞 みずでっぼう みんなであそべば クールダウン 渋谷 結依 小1 神奈川県 横須賀市立北下浦小学校

三洋商事賞 月の光は、豆電球 丸川 大輔 小4 大阪府 東大阪市立英田南小学校

ANA賞 風かおる きれいな自然の おくりもの 地田 晴菜 小2 富山県 富山市立鶴坂小学校

電通賞 風がふく ホッとちぎゅうの しんこぎゅう 緑川 菜南 小2 福島県 棚倉町立高野小学校

日本興亜損害保険賞 いっしょならエコも楽しく、楽しもう 熊谷 千楓 小1 東京都 墨田区立八広小学校

住友ゴム工業賞 大事な、大事なエネルギー使うあなたは責任者 村岡 莉緒 中2 宮崎県 都城市立中郷中学校

日本ミシュランタイヤ賞 3Rでエコしよう 萩田 明日香 小5 東京都 練馬区立練馬東小学校

クボタ賞 お水はね、人の生命 地球の命 伊東 将輝 小4 大阪府 東大阪市立英田南小学校

熊谷組賞 しょーとへあー かみふるだけで かわいちゃう 吉村 玲菜 小1 長野県 飯田市立松尾小学校

戸田建設賞 北風と 太陽競って する発電 白石 理紗子 小6 福岡県 明治学園小学校

ニッポンレンタカーサービス賞 節電はぼくらの未来の貯金箱 高山 緋莉 中1 埼玉県 本庄東高等学校附属中学校

三菱重工パーキング賞 自然力 活かして生きよう 地球人 日高 広海 小5 滋賀県 高島市立今津東小学校

ワタミ賞 生ごみも 畑の肥料へ再利用 鳥居 康平 小5 愛知県 豊橋市立飯村小学校

辻・本郷税理士法人賞 おひさまは、私と地球のお母さん 宮崎 亜久里 小4 愛知県 名古屋市立千代田橋小学校

スーパーホテル賞 おひさまが お花も未来も 照らしてる 竹田 真亜 小3 千葉県 浦安市立日の出小学校

ブリヂストン賞 たいようは わたしとちぎゅうの げんきパワー 柳澤 璃々 小1 新潟県 上越市立大瀧町小学校

リクルート賞 ぼくのせと 緑のカーテン くらべっこ 古田 彬文 小5 愛知県 知多市立新田小学校





環境大臣賞

なつのはな みずやりすると ちょうがのむ

小川 陽菜乃

小1 愛知県
常滑市立常滑西小学校

「エコ・ファースト推進協議会」優秀賞

むだな水は 地球のなみだだよ

中川 桃奈

小5 愛知県
刈谷市立富士松北小学校

日本ことわざ文化学会賞

水が好き 人が好き 節水する君がもっと好き

福島 敏明

中1 埼玉県
本庄市立本庄西中学校

加盟企業賞(「エコ・ファースト企業」認定順)

ビックカメラ賞 クーラーを 消して聴こえる セミの声

本田 美環

小3 埼玉県
日高市立高根小学校

ユニー賞 きれいだな ほたるのひかりと 川の水

安藤 あさひ

小2 愛知県
名古屋市立瀬古小学校

キリンビール賞 おいしいね この水みらいの たからもの

福島 早苗

中3 埼玉県
本庄市立本庄西中学校

ライオン賞 ぼくにもできる せっすいライフ はみがき せんがん てあらいも

榊原 滉大

小3 愛知県
西尾市立鶴城小学校

LIXIL賞 くもはみず うみかわあめゆき ひとつもみず

武田 爽

小1 神奈川県
川崎市立王禅寺中央小学校

積水ハウス賞 かわのみず すこしわけてね さかなさん

山原 迅人

小6 岡山県
岡山市立宇野小学校

日産自動車賞 未来でも 飲んでいきたいな この水を

川上 隼翔

小4 大阪府
東大阪市立英田南小学校NECパーソナル
コンピュータ賞 ぼく達と地球の元気はお水から

遠藤 悠生

小3 群馬県
高崎市立倉賀野小学校

リマテック賞 もったいない! そんな気持ちがエコ活動

田原 麻依人

小2 宮崎県
都城市立志和池小学校

三洋商事賞 お水はね いつもやくだつ ありがとう

松江 涼風

小4 大阪府
東大阪市立玉川小学校

ANA賞

空から地上へ そして海 水は地球の血液だ

常長 咲希

中3 神奈川県
洗足学園中学校

電通賞

汚血ふく そのひと手間が 海守る

山本 葵

小5 埼玉県
坂戸市立三芳野小学校

住友ゴム工業賞

守ろうよ 水の惑星 未来まで

日高 碧海

中3 宮崎県
県立五ヶ瀬中等教育学校

資生堂賞

雨、川、海へと、水の流れが生命育む きれいな水は地球の血液

田中 紗貴

小6 栃木県 宇都宮大学
教育学部附属小学校

ノーリツ賞

かぞくみんなでおふろにはいる なかよくなって 水も大切
かぞくも大切

三橋 一晴

小2 静岡県
静岡市立田町小学校

クボタ賞

のんだ水 すてた水 みんないのちのみなもとだ

酒井 雄人

小3 福井県
福井市立社西小学校

熊谷組賞

ふる水のむ水ながす水みんなおなじなんだって

横山 恵樹

小1 東京都
杉並区立八成小学校

戸田建設賞

おとなになっても おいしいみずを のみたいな

西脇 楓華

小1 兵庫県
西宮市立高須西小学校ニッポンレンタ
カーサービス賞

丸坊主、水の節約ぼくできた

堂本 佳祐

小4 茨城県
神栖市立植松小学校三菱重工
パーキング賞

めぐりゆく 水は地球の ツーリスト

山本 葵

小5 埼玉県
坂戸市立三芳野小学校

ワタミ賞

かぞくみんな せーので入り せっすい風呂

鈴木 雄大

小2 東京都
新宿区立落合第一小学校辻・本郷
税理士法人賞

水がある 変わらぬ日々は 貴重な日々

十川 天音

小6 大阪府
松原市立松原南小学校

スーパーホテル賞

山々を 守る優しさ つながる一滴

清水 寿覇

小5 東京都
墨田区立言問小学校

ブリヂストン賞

忘れたか! 水は僕らの貴重な資源

吉田 格

小4 東京都
新宿区立戸山小学校

リクルート賞

私の流すこの一滴 未来への手紙

小林 あぐり

小2 埼玉県
東松山市立高坂小学校

アジア航測賞

森の水 自然をつくり 育てたよ

藤本 真由

小5 愛知県
名古屋市立桃山小学校

2014

2014年度
テーマ

地球と私たちの未来の環境を守るために



環境大臣賞

伝えよう 青い地球の 赤信号 福島 敏明 中2 埼玉県 本庄市立西中学校

「エコ・ファースト推進協議会」優秀賞

エコとわざ 考えるのも エコ意識 小泉 奈津美 小6 大阪府 東大阪市立玉川小学校

日本ことわざ文化学会賞

雨あがり、ためたバケツをのぞいたら、空のにじがうつったよ 倉田 叶望 小4 愛知県 常滑市立鬼崎北小学校

加盟企業賞(「エコ・ファースト企業」認定順)

ビックカメラ賞 省エネは、未来のための充電だ 千秋 華 小6 東京都 練馬区立大泉第四小学校

ユニー賞 ちいさくなったぼくのふく どこかのくにで またえがお 山田 桂輔 小1 愛知県 常滑市立鬼崎南小学校

キリンビール賞 かぎりある しげんをつないで 未来の笑顔 山田 翼 中1 埼玉県 本庄東高等学校附属中学校

ライオン賞 残り湯で 打ち水・洗濯 風呂掃除 斎藤 宏樹 小4 兵庫県 西宮市立北夙川小学校

LIXIL賞 「びたぴた」「ぱらん」「ぼとん」地球さんやさしい雨をふらせてね 近藤 凜乙 小2 大阪府 吹田市立藤白台小学校

積水ハウス賞 大好きな おばあちゃんは エコ先生 小林 さくら 小5 愛知県 名古屋市立藤が丘小学校

NECパーソナルコンピュータ賞 私にとってのこんなもの 誰かがもらえばありがとう 岩崎 しおり 中1 埼玉県 本庄東高等学校附属中学校

リマテック賞 ぼくもできるよ おみずをだいにじにつかうこと 緑川 慶汰 小1 福島県 棚倉町立高野小学校

三洋商事賞 「ポイ捨て」は自分の未来も捨ててるよ 藤野 寛太 中2 大阪府 東大阪市立高井田中学校

ANA賞 ぼくたちが かんきょうをまもる ヒーローだ 本橋 隼人 小1 東京都 東村山市立八坂小学校

タケエイ賞 すてちゃダメ!! ひと手間かけて、自然へのおん返し 鈴木 咲貴 小3 静岡県 浜松市立葵が丘小学校

電通賞 今、出発! 未来へ続く地球号 君のハートが乗車券 尾崎 暉 中1 福井県 福井市立藤島中学校

住友ゴム工業賞 むだな電気をOFFにして エコのいしきをONしよう 緑川 菜南 小4 福島県 棚倉町立高野小学校

資生堂賞 大好きな 山も海も 地球の恵み 杉井 柊太 中2 大阪府 東大阪市立玉川中学校

ノーリツ賞 家族でおふる 笑顔まんかい 地球もよろこぶ 清水 響喜 小3 東京都 墨田区立言問小学校

クボタ賞 未来に残そう 地球に息づく 全ての生き物 石原 碧 小5 東京都 練馬区立北町西小学校

熊谷組賞 ゴミだけど変身させてよりサイクル 高橋 右丞 小3 静岡県 浜松市立積志小学校

戸田建設賞 もったいない こだませよう みんなの社会 日原 佑理 小3 愛知県 名古屋市立楠小学校

ニッポンレンタカーサービス賞 温暖化とめる気持ちでエコ運転 久保田 凜 小6 大阪府 東大阪市立玉川小学校

ワタミ賞 作りすぎない残さない食事のゴミを私はカット!! 榊原 歩南 中3 愛知県 西尾市立鶴城中学校

辻・本郷 税理士法人賞 エゴを捨て、手を取り合えば「エコ」になる 水上 郁佳 小6 神奈川県 横浜市立三保小学校

一条工務店賞 光で創るエネルギー増やして減らすCO₂ 大平 光哉 中3 宮崎県 三股町立三股中学校

スーパーホテル賞 give and take 気付いて実行 明るい未来 森田 大毅 中1 東京都 練馬区立三原台中学校

ブリヂストン賞 大きな森をはじめは赤ちゃん みんなで育てる緑の地球 柴田 大樹 小3 兵庫県 尼崎市立武庫小学校

リクルート賞 一人のエコも 積もれば 未来が変わる 北林 大幸 中1 愛知県 一宮市立中部中学校

ブラザー工業賞 未来まで つなげていこう 緑のバトン 栗原 明日香 中1 埼玉県 本庄東高等学校附属中学校

アジア航測賞 水・しげん・ぼくとちきゅうもまわってる 鳴海 樹 小1 愛知県 常滑市立常滑西小学校



環境大臣賞

省エネが 地球の熱の 処方箋
長谷川 由奈 小5 愛知県 知立市立知立小学校

「エコ・ファースト推進協議会」優秀賞

キャンプして きづいた いつもの つかいすぎ
中川 泰我 小1 愛知県 東郷町立兵庫小学校

日本ことわざ文化学会賞

リビングで 家族のエコわざ 発表会
小林 さくら 小6 愛知県 名古屋市立藤が丘小学校

加盟企業賞(「エコ・ファースト企業」認定順)

ビックカメラ賞 エコが積もれば 未来になる
宮川 将希 小6 東京都 東京学芸大学附属世田谷小学校

ユニー賞 森づくり そうだこの種 植えてみよう
畑中 悠希 小1 愛知県 常滑市立鬼崎北小学校

キリン賞 100年先の地球のために みんなでしよう エコの貯金
丹 芙由子 小6 愛知県 刈谷市立小垣江東小学校

ライオン賞 リサイクル 未来へつづく 思いやり
木内 那智 中1 大阪府 東大阪市立高井田中学校

LIXIL賞 わがまちを 愛することから はじまるエコ
木之村 朔都 小6 岐阜県 各務原市立中央小学校

積水ハウス賞 カッコいい もったいないと 言ったきみ
若井 理香 小6 新潟県 新潟市立上山小学校

NECパーソナル コンピュータ賞 わたしがね まもってあげるよ ちきゅうさん
遠藤 麻央 小1 群馬県 高崎市立倉賀野小学校

リマテック賞 再生可能エネルギー 未来の地球をつくる鍵
木場 陽一郎 中3 埼玉県 川越市立野田中学校

三洋商事賞 まあいいや それは世界を こわすこと
豊田 真子 中2 大阪府 東大阪市立高井田中学校

ANA賞 青い地球 守って描こう 輝く未来
牧原 奈々子 小5 神奈川県 横浜市立荏子田小学校

タケエイ賞 今、この自然に感謝して、私が変われば、気候も変わる
君嶋 優実 小6 兵庫県 神戸市立雲中小学校

電通賞 まずは「1」から始めよう 「1℃」「1分」「1枚」「1人」
地球のためにできること
水上 優美 中3 神奈川県 横浜市立十日市場中学校

住友ゴム工業賞 でんき消した?気づくことがエコかつどう
緑川 遼汰 小2 福島県 棚倉町立高野小学校

日本ミシュラン タイヤ賞 自動車の やさしい運転 エコになる
吉岡 凜 中3 東京都 豊島区立巢鴨北中学校

クボタ賞 「ちょっとそこまで」は、歩きます。パパも地きゅうもダイエット
杉江 由成 小3 愛知県 常滑市立常滑西小学校

熊谷組賞 CO₂ 森のおかげで O₂に
正地 凜々子 中1 埼玉県 本庄東高等学校附属中学校

戸田建設賞 誰のため? ゴミの分別、地球と僕らの未来のため
安 智香 小3 神奈川県 横浜市立市場小学校

ニッポンレンタカーサービス賞 エコ運転 つながる省エネ、安全性
神内 宗一郎 小4 香川県 高松市立林小学校

ワタミ賞 「ちょっとぐらい」そのつみかさねがおんだんか
岩崎 南美 小4 神奈川県 横浜市立岸谷小学校

辻・本郷 税理士法人賞 みどりはね ちきゅうをつつむ だいじだね
島田 すばる 小1 東京都 渋谷区立富谷小学校

一条工務店賞 ソーラーパネル、君は発電。私は節電
長谷川 美和 小4 大阪府 東大阪市立玉川小学校

スーパーホテル賞 車では見えないものも 見えてくる
たまには良いよね歩くのも あなたの町の素顔が見える
篠崎 舞 中3 東京都 渋谷教育学園渋谷中学校

ブリヂストン賞 地球がおねつをだしてるよ 緑でひやそう
ぼくらは地球のお医者さん
山田 桂輔 小2 愛知県 常滑市立鬼崎南小学校

リクルート賞 あけっぱなし、だしっぱなし、つけっぱなし、
ぼくはどれからなおそうか。
清澤 昊 小4 愛知県 常滑市立常滑東小学校

ブラザー工業賞 でんげんオフ 未来のちきゅうに バトンタッチ
本橋 隼人 小2 東京都 東村山市立八坂小学校

アジア航測賞 勉強は夜更かしよりも早起きで 電気をつけずに三問を解く
西古 羽那 中1 愛知県 知多市立知多中学校



環境大臣賞

ちりも積もれば山となる エコが積もれば地球が輝く
森田 友梨 中2 大阪府 東大阪市立玉川中学校

「エコ・ファースト推進協議会」優秀賞

木を植えて 次の世代へ 緑のたすき
本橋 隼人 小3 東京都 東村山市立八坂小学校

日本ことわざ文化学会賞

種ひとつ わたしの瞳に 森林映る
杉原 杏由子 小6 兵庫県 高砂市立米田西小学校

加盟企業賞(「エコ・ファースト企業」認定順)

ビックカメラ賞 使おう、省エネ家電、財布にやさしく、地球にもやさしい
小林 祇龍 小4 神奈川県 川崎市立上丸子小学校

ユニー賞 エコリンピック ちきゅうがニッコリ金メダル
杉江 輝俐 小2 愛知県 常滑市立常滑西小学校

キリン賞 ぼくにもできるよ マークをみつけてリサイクル
原 健人 3年 東京都 都立大塚ろう学校城東分教室

ライオン賞 エコかいぎ したら深まる 家族の輪
佐々木 鈴音 小3 東京都 江戸川区立松本小学校

LIXIL賞 未来を守ろう 心のキレイは 地球のキレイ
柿園 美波 小6 愛知県 常滑市立常滑東小学校

積水ハウス賞 あおいほし くらやはいいろ まぜちゃだめ
三善 優花 小1 静岡県 沼津市立第三小学校

NECパーソナルコンピュータ賞 豊かな自然を次世代に繋ぐ エコリレー 私は地球の代表選手
田中 紗貴 中3 栃木県 宇都宮大学附属中学校

リマテック賞 環境を 考える気持ちがエコの種 心に植えて育てよう
樋口 果音 小4 東京都 北区立王子小学校

三洋商事賞 リサイクル皆で地球を守りたい
内倉 寧々 中2 大阪府 東大阪市立玉川中学校

ANA賞 モットイナイ 世界にひろがる エコロジー
小泉 あかり 中1 埼玉県 さいたま市立桜木中学校

タケエイ賞 残そう化石燃料 使おう自然エネルギー 皆で止めるぞ 地球温暖化
近藤 峻 中2 静岡県 静岡学園中学校

電通賞 だいこんのへた たわしになるよ たのしいね
山尾 詞葉 小1 東京都 中央区立明石小学校

住友ゴム工業賞 省エネは、明日へとつなぐ、未来のバトン
千秋 華 中2 東京都 練馬区立大泉中学校

川島織物セルコン賞 花もさく みどりのカーテン すずしいな
勝見 咲香 小3 愛知県 常滑市立鬼崎北小学校

クボタ賞 じゃぐちをキュッ ぼくもママも地球も笑顔
竹市 琉人 小1 愛知県 江南市立布袋小学校

熊谷組賞 わたしがとる！ ぼくがとる！ エコオリンピックの金メダル！
伊藤 梨紗 小2 愛知県 常滑市立常滑西小学校

戸田建設賞 リユースでつながるしあわせ バトンリレー
和里田 愛実 小4 奈良県 広陵町立真美ヶ丘第二小学校

ニッポンレンタカーサービス賞 そのエンジン少しとめると地球がよるこぶ
平林 祐樹 小3 奈良県 桜井市立初瀬小学校

ワタミ賞 植物由来をかしこく選択 地球と財布に優しく洗濯
東瀬 美咲 中2 東京都 学習院女子中等科

辻・本郷税理士法人賞 エコ活動 地球の元気は 私の元気
長谷川 由奈 小6 愛知県 知立市立知立小学校

一条工務店賞 エコのため なくすものは ぼくのエゴ
村上 顕光 小4 岐阜県 大垣市立興文小学校

スーパーホテル賞 たべのこし、なくして、ぼくもちきゅうも げんきモリモリ！
舘野 立煌 小1 神奈川県 横浜市立子安小学校

ブリヂストン賞 かぎりある 地球のしげんを 未来へと
渡部 藍花 小5 岐阜県 大垣市立興文小学校

リクルート賞 持物は、ハンカチ・ティッシュ・エコバッグ
永井 詩乃 小4 東京都 大田区立嶺町小学校

大成建設賞 今もなお 地球の資源は 自然だけ
土澤 祐希 小5 埼玉県 春日部市立武里小学校

アジア航測賞 分別とは世界の行方も分けている
石飛 大地 中2 大阪府 東大阪市立玉川中学校

西松建設賞 でんきのけしわすれ さいごのチェックは ぼくがする
丹 幸生 小1 愛知県 刈谷市立小垣江東小学校



環境大臣賞

ちきゅうのえ あおとみどりで かきたいな 中田 理仁 小1 大阪府 大阪市立東小路小学校

「エコ・ファースト推進協議会」優秀賞

電気消し 名月愛でる エコな夜 竹田 真亜 中2 千葉県 浦安市立日の出中学校

日本ことわざ文化学会賞

物心つく前の エコ心 藤田 あまね 小4 兵庫県 神戸海星女子学院小学校

加盟企業賞(「エコ・ファースト企業」認定順)

ビックカメラ賞 「また会おう」その気持ちこそリサイクル 山口 茉乃 小5 東京都 大田区立矢口東小学校

ユニー賞 子どもにも 地球の環境 守る権利 和田 芹奈 小3 滋賀県 東近江市立蒲生西小学校

キリン賞 エコのバトン 次は私が つなぐ番 長谷川 由奈 中1 愛知県 知立市立竜北中学校

ライオン賞 リサイクルで、また使おうよ、またあおう。 村上 和 小3 神奈川県 横浜市立永田小学校

LIXIL賞 一つの部屋に集まればスイッチオフで笑顔オン 間宮 羽琉 小3 愛知県 常滑市立常滑西小学校

積水ハウス賞 じいちゃんの むかしのあそびに エコまなぶ 和田 昂志郎 小1 滋賀県 東近江市立蒲生西小学校

NECパーソナル コンピュータ賞 くず野菜 絵はがき書いたら みなえがお 浅井 花月 小3 福島県 会津若松市立行仁小学校

リマテック賞 「もったいない」 エコにつながる あいことば 寺本 空生 小1 京都府 精華町立東光小学校

三洋商事賞 つづけよう 地球のヒーロー リサイクル 中嶋 琉太 小4 大阪府 東大阪市立英田南小学校

ANA賞 ゴミ分別 注意一秒 地球一生 鈴木 茉耶 小3 千葉県 国府台女子学院小学部

タケエイ賞	ふやそうよ みどりは 地球のお守りだ	小菅 喜花	小1 神奈川県 湘南白百合学園小学校
電通賞	じてんしゃもだいじにつかっておとうとに	都築 宗里	小1 愛知県 常滑市立三和小学校
住友ゴム工業賞	地球ちゃん 熱あるの? みんなで看病 節電するぞ!!	中島 莉胡	小2 鹿児島県 霧島市立国分北小学校
日本ミシュランタイヤ賞	ゴミじゃない! 大事に使えば立派な資源!	新倉 斗真	小3 宮城県 三股町立勝岡小学校
川島織物セルコン賞	部屋の中ではカーテンをしめてから冷房をつけよう	武田 凧海	小5 埼玉県 春日市立武里小学校
クボタ賞	気持ちも蛇口もひきしめよう! 青い地球を守るため	水上 郁佳	中3 神奈川県 横浜市立十日市場中学校
熊谷組賞	レジぶくろ おことわりして エコバック	庄司 悦梨	小3 静岡県 磐田市立青城小学校
戸田建設賞	千里の道も一歩から、エコへの道は私から	東 凌駕	小6 神奈川県 川崎市立鷺沼小学校
ニッポンレンタカーサービス賞	止まる時、エンジン切れば、CO ₂ を減らせる	佐々 音羽	小6 愛知県 常滑市立大野小学校
ワタミ賞	便利ファーストよりエコファースト、人間ファーストより地球ファースト	清水 陽平	小5 山梨県 大月市立大月東小学校
辻・本郷税理士法人賞	捨てればゴミ わければ資源 未来へ続く第一歩	下山 玲乃	小4 愛知県 大町町立大口北小学校
一条工務店賞	エコライフ 未来へつづく パスポート	古曾部 颯太	小4 石川県 小松市立芦城小学校
スーパーホテル賞	エコ活動 一人ひとりの 心が大事	本橋 隼人	小4 東京都 東村山市立八坂小学校
ブリヂストン賞	作り手も使い手も いっしょにエコで 未来をつなぐ	曾我 梨央	中2 大阪府 大阪市立蒲生中学校
リクルート賞	にがいけど ゴーヤカーテン 強烈だ!	村上 煌宙	小1 埼玉県 さいたま市立常磐小学校
アジア航測賞	ごみひろい ちきゅうへ小さなおんがえし	堀内 津麦	小2 宮城県 仙台市立南吉成小学校
西松建設賞	異常気象 地球の涙 エコでゼロ	島田 紗希	小5 埼玉県 埼玉大学教育学部付属小学校



環境大臣賞

未来の計は エコにあり
下山 樹 中2 愛知県 大口町立大口中学校

「エコ・ファースト推進協議会」優秀賞

とりもどせ るり色の海を 脱プラで
佐藤 恵音 小5 宮城県 仙台市立金剛沢小学校

日本ことわざ文化学会賞

せかいじゅうの子どもで エコどもサミット
和田 昂志郎 小2 滋賀県 東近江市立蒲生西小学校

加盟企業賞(「エコ・ファースト企業」認定順)

ビックカメラ賞 金銀銅 2020は、エコチャンピオン
新田 凜雄 小5 東京都 葛飾区立本田小学校

ユニー賞 たくさんの さかなとむしは ぼくのしんゆう
寺倉 一成 小1 愛知県 稲沢市立下津小学校

キリン賞 また会おう 分別しながら つぶやいた
和田 匡生 小6 東京都 中央区立城東小学校

ライオン賞 おさがりは 幸せつなぐ エコパトン
佐々 音羽 中1 愛知県 常滑市立青海中学校

積水ハウス賞 リビングで 家族だんらん エコ生活
坂元 律公 小4 宮城県 都城市立沖水小学校

日産自動車賞 かがやく世界 自然と共ぞん
和田 芹奈 小4 滋賀県 東近江市立蒲生西小学校

NECパーソナルコンピュータ賞 電気を消して空を見る 星たちが笑っているよ
堀内 津麦 小3 宮城県 仙台市立南吉成小学校

三洋商事賞 リサイクル 地球を救う 心がけ
小西 蓮 小4 大阪府 東大阪市立玉川小学校

ANA賞 むりょうでも いらぬものは おことわり
柏原 美優 小5 東京都 北区立神谷小学校

タケエイ賞 『もったいない』が広まらないと『もったいない』
清水 陽平 小6 山梨県 大月市立大月東小学校

電通賞 「まあいっか」 軽い気持ちで 地球を汚す 大事件
南野 杏奈 小6 大阪府 箕面市立西南小学校

住友ゴム工業賞 あついのひは ひとじゃなくて ちきゅうだよ
永井 美宇 小1 宮城県 都城市立梅北小学校

MICHELIN賞 ゴミの 未来は ゴミにしない
星 晴貴 小4 愛知県 稲沢市立稲沢東小学校

川島織物セルコン賞 エコ商品 選んで守る 未来の自然
澤栗 愛佳 小4 福島県 北塩原村立裏磐梯小学校

クボタ賞 ともだちと かんがえまもる あおいほし
浅野 智恵 小1 岐阜県 羽島市立竹鼻小学校

熊谷組賞 SDGs 世界みんなの合言葉
細川 奏音 小4 東京都 中央区立日本橋小学校

戸田建設賞 エコロジー 上げるじょうねつ 下がる気温
小林 希未 小3 愛知県 岩倉市立五条川小学校

ニッポンレンタカーサービス賞 エコ運転 家族と地球へ 思いやり
島田 紗希 小6 埼玉県 埼玉大学教育学部附属小学校

ワタミ賞 打ち水で 地面すずしく 夏の朝
前野 琴美 小6 東京都 武蔵野市立桜野小学校

辻・本郷税理士法人賞 かわるのは自分から かえるのはみんなの力 未来へのたねをまこう
鈴木 心渚 中2 福島県 会津若松市立若松第三中学校

一条工務店賞 木を植えて自然を作ろう人の手で、いのちのバトンつなごうよ
庄司 悦梨 小4 静岡県 磐田市立青城小学校

スーパーホテル賞 地球のために エコひいき
杉田 珠江 小6 東京都 文京区立明化小学校

リクルート賞 地球さんに 緑のドレスを プレゼント
杉浦 希 小5 愛知県 岡崎市立福岡小学校

ブラザー工業賞 未来でも 緑の地球に 会いたいな
長谷川 由奈 中2 愛知県 知立市立竜北中学校

アジア航測賞 ほほなでる やさしい風は 田んぼから
松山 愛 小2 愛知県 扶桑町立高雄小学校

西松建設賞 歩こうよ 車も休日 ほしいよね
久保 香帆 小4 大阪府 河内長野市立三田市小学校

住友化学賞 使う時、少し未来を考える 意識かわればエコもひろがる
曾我 綸 小6 大阪府 大阪市立聖賢小学校

清水建設賞 面倒でも分別 その心がけが 未来を変える
本橋 隼人 小5 東京都 東村山市立八坂小学校

大和ハウス工業賞 エコな家 夏はcoolに 冬はポカポカ
藤井 隆斗 中3 埼玉県 川越市立野田中学校



環境大臣賞

さかなさんも たべたくないよ うみのごみ 牛田 千絢 小1 岐阜県
大垣市立西小学校

「エコ・ファースト推進協議会」優秀賞

地球を救う ひらめきの数 星の数 和田 芹奈 小5 滋賀県
東近江市立蒲生西小学校

「エコ・ファースト推進協議会」10周年特別賞

時間割り 「環境」科目 作ろうよ 長谷川 由奈 中3 愛知県
知立市立竜北中学校

日本ことわざ文化学会賞

エコのこえ 子どもがつたえ 大人がかわる 本田 晴菜 小3 京都府
精華町立東光小学校

加盟企業賞(「エコ・ファースト企業」認定順)

ビックカメラ賞 2020 ごみゼロで おもてなし 東瀬 柚咲 小5 東京都
調布市立若葉小学校

ユニー賞 家族はね 仲がいいほど エコになる 青山 絆花 小2 静岡県
静岡市立川原小学校

キリン賞 買い物で 環境ラベルを選ぶこと まずはここからエコ活動 吉本 琥珀 小6 兵庫県
姫路市立豊富小学校

ライオン賞 「エコしてる？」 幸せつくる 愛言葉 佐々 音羽 中2 愛知県
常滑市立青海中学校

積水ハウス賞 過去は水に流しても ゴミは水に流さない 中田 理仁 小3 大阪府
大阪市立東小路小学校

日産自動車賞 太陽は 地球とぼくの エネルギー 川元 淳矢 小4 埼玉県
三郷市立新和小学校

NECパーソナルコンピュータ賞 「いただきます」残さず食べる エコな誓い 佐藤 恵音 小6 宮城県
仙台市立金剛沢小学校

三洋商事賞 つなごうよ 未来の人へ きれいな地球 安福 朋夏 小4 大阪府
東大阪市立玉川小学校

ANA賞 2020 縁でもてなす 世界の友だち 伊藤 允人 小4 神奈川県
鎌倉女子大学初等部

タケエイ賞 エッ！こんなことから エコなこと 佐竹 優巳 小5 神奈川県
横浜市立本宿小学校

電通賞 エコ活動 一人の十歩より みんなの一步 吉田 大樹 小3 東京都
江戸川区立大杉第二小学校

住友ゴム工業賞 つよいあめ ちきゅうがすごく おこってる 永井 美宇 小2 宮城県
都城市立梅北小学校

MICHELIN賞 プラスチック ポイ捨て一瞬 残るは一生 原 匠人 小6 千葉県
浦安市立東野小学校

川島織物セルコン賞 ゴーヤのカーテン エアコンいらす 西芦谷 稀星 小4 宮城県
都城市立山田小学校

クボタ賞 パパとお風呂 追い焚き減らして 会話がふえる 森本 亘流 小4 埼玉県
桶川市立桶川西小学校

熊谷組賞 レジ袋、母を見習いノーサンキュー 小澤 瑠向 小4 東京都
世田谷区立中町小学校

戸田建設賞 みんなでエコエコ地球ニコニコ！ 上舞 留愛 小6 宮城県
都城市立上長飯小学校

ニッポンレンタカーサービス賞 1人から どんどんつながるエコロジー 小林 希未 小4 愛知県
岩倉市立五条川小学校

ワタミ賞 すききらい なくせばごみも へらせるよ 大野 朱莉 小2 愛知県
犬山市立犬山西小学校

辻・本郷税理士法人賞 ごみルール 守ろう 未来の地球のために 小谷 美結 小5 千葉県
市川市立平田小学校

一条工務店賞 節電は 私と地球の お約束 神内 真穂 小2 香川県
高松市立林小学校

スーパーホテル賞 暑くて泣きたいのは 君より地球 佐々木 心音 小6 神奈川県
鎌倉市立清泉小学校

リクルート賞 分別は まいごのゴミの道案内 青木 悠祐 小3 東京都
練馬区立田柄第二小学校

大成建設賞 どうぶつを ちきゅうのみんなで まもるんだ 志賀 広望 小1 東京都
日野市立日野第五小学校

ブラザー工業賞 つくろうよ クリーンで グリーンな 未来の地球 杉浦 叶汰 中3 愛知県
岡崎市立福岡中学校

アジア航測賞 明かり消し 見上げた空に 天の川 堀内 津麦 小4 宮城県
仙台市立南吉成小学校

西松建設賞 まだ着れる お下がりがなんて へっちゃらだ 寺本 空生 小3 京都府
精華町立東光小学校

清水建設賞 サーキュラー 何度も使え みんなの資源 大橋 未侑 小6 茨城県
つくば市立竹園西小学校

大和ハウス工業賞 レジ袋 いつも断る ママが好き 横渡 珠季 中1 東京都
西東京市立柳沢中学校

エコ・ファースト推進協議会の
環境年表





『エコとわざコンクール10周年記念誌』

編集

エコ・ファースト推進協議会

日本ことわざ文化学会

執筆協力

時田 昌瑞 森 洋子 山口 政信

「エコとわざ」コンクール

- 主催 エコ・ファースト推進協議会
- 後援 環境省
- 協力 全国小中学校環境教育研究会
- 審査・監修 日本ことわざ文化学会



<https://www.eco1st.jp/>



2020.11

非売品